

ホームページ掲載内容

同意の取得について：

今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：

「子宮内膜症・子宮腺筋症の異所性浸潤機構の解明」

研究機関：

順天堂大学医学部 産婦人科講座

研究責任者：

順天堂大学医学部 産婦人科講座 教授 北出真理

研究分担者：

順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座 准教授 折茂 彰
順天堂大学医学部 産婦人科講座 大学院 武内 詩織

研究の意義と目的：

女性ホルモン依存性に異所性増殖を繰り返す子宮内膜症は、病理学的には良性であるものの、転移や浸潤、播種など腫瘍類似の進展性を持ち、時に消化管や泌尿器系臓器、胸腔にまで病巣が及び場合もあります。また子宮内膜症・子宮腺筋症は周囲組織の炎症性変化や高度な線維化により不妊症や慢性疼痛を惹起します。一方で子宮内膜症では癌化や易再発性のリスクもあり、治療には非常に苦慮する進行性の疾患です。近年、女性の出産率の低下に伴い、子宮内膜症の罹患率の増加が指摘されています。

子宮内膜症の治療には薬物療法と手術療法がありますが、手術療法単独では術後再発や卵巣機能低下のリスクがあるため、長期に渡って完解状態を継続するのは困難な場合も有ります。一方薬物療法にはエストロゲン低下を目的とした低用量ピルやプロゲステン製剤などのホルモン治療が主流ですが、これらの薬剤は排卵を抑制するため妊娠を望む女性には適応外となります。晩婚化が社会的問題となっている昨今では、拳児希望のある女性にも使用できる治療薬の開発が急務です。

本研究では、子宮内膜症/子宮腺筋症の進展における線維芽細胞の役割を明らかにするとともに、子宮内膜細胞の異所性浸潤機構を解明し、子宮内膜症/子宮腺筋症治療の開発に役立てることを目的としています。

観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは、2008年4月1日～2017年12月30日までに順天堂医院にて子宮内膜症、子宮腺筋症と診断され手術を受けた方です。パラフィン包埋された子宮内膜症・腺筋症検体を薄切したスライドを準備し、特

定のバイオマーカー遺伝子に対する抗体を用いて免疫組織染色を試行いたします。必要に応じて、カルテ情報も参照させていただきます。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、合併症、採血データ

研究解析期間：

承認日～2022年3月31日

被験者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月 WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017年2月28日一部改訂）に従って本研究を実施します。

個人情報の保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、当院病理腫瘍学の研究費によって実施しており、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。なお、本研究の責任者および分担者は、順天堂医院医学系研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査を受けております。

お問い合わせ先：

順天堂大学医学部 産婦人科学講座

担当医師：北出真理

〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1

電話：03-3813-3111 (内線 3525)

FAX：03-5684-1646